

ふれあひ

かみのやま 社協だより

No.127

令和7年6月1日号

ボランティア
大活躍!



かみのやまカフェの様子

かみのやまカフェでは、認知症予防の脳トレや体操・講話なども行っており、ボランティアはその運営のお手伝いに関わっていただいています。



あいさつオレンジウォーキングの様子

認知症関連イベントボランティア・認知症関連施設の方・認知症の当事者と家族などの皆さんと地域包括支援センターが連携し、市内をウォーキングしながら地域の見守りを行っています。



社会福祉法人

上山市社会福祉協議会

〒999-3135 上山市南町4番5-12号

TEL 023-695-5095 FAX 023-695-5096

e-mail:kaminoyama@ic-net.or.jp

<http://care-net.biz/06/kaminoyama/>



この広報紙は、赤い羽根共同募金の配分金で発行しています

「福祉の心をはぐくみ、共にささえあう
つながりのあるまち上山」を目指して

初夏の清涼な風がふきぬける心地よい季節となりました。皆様におかれましては、日頃より、本会の事業運営につきまして、ご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

さて、社会構造が多様に変化する中で、地域の皆様がともに支え合い、地域をお互いに創っていく「地域共生社会」の実現が求められています。そのためには、福祉の専門職や行政、地域の皆様からも積極的にかかわっていただき、地域福祉活動等に取り組むことが必要です。

本会では、多様化する地域福祉のニーズに対応するため、専門員等が市内各地区への訪問活動を行うことで地域福祉の現状を的確に把握するとともに、意見交換等を行い地域福祉活動を支援してまいります。

また、生活に困窮した世帯、高齢者や障がい者等の地域生活を支えるための事業等を推進し、利用者のニーズに沿った個別援助活動を図ります。判断能力が不十分な方でも地域で安心して暮らせるよう、成年後見制度に関する相談等を行う「成年後見センター」を新たに上山市より受託し、事業を実施します。

昨今、多発している大規模な自然災害の備え、災害時に活躍するボランティア等の人材育成に努めながら、災害が起きた際は被災地等への職員派遣や支援活動に協力いたします。

介護保険サービスにおいては、取り巻く環境の変化にも機敏に対応して、効率的かつ適切な事業運営に努めるとともに、利用者本位で信頼される質の高い介護サービスを提供いたします。

今後も地域福祉活動の担い手として、地域社会からの要請に応えられるよう、第4次地域福祉活動計画に基づき事業を推進してまいりますので、皆様からの一層のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



上山市社会福祉協議会
会長 山本 幸靖

社会福祉協議会会費と募金等について

社協では、市民の皆様や各関係機関の方からご協力をいただきながら、地域の方々が住み慣れたまちで安心して生活できる「福祉のまちづくり」の実現をめざして、在宅福祉や地域福祉の推進に取り組んでいます。市内の各世帯等からご協力いただいている会費や募金は、上山市の福祉のまちづくりを行うために活用しています。

今年度も皆様からのご協力をよろしくお願いいたします。

社協会費（1世帯500円）・賛助会費（1口1,000円）

市民主体の地域福祉活動や福祉のまちづくりの財源として活用されています。

主な使いみち

地域福祉活動の推進のための財源（ふれあい・いきいきサロンづくりの推進、ボランティア活動の相談・育成・支援、福祉学習の推進 等）



赤い羽根共同募金（1世帯400円以上）

県内の福祉施設等への支援のほか、市内で幅広く福祉活動を推進する財源として活用されています。

主な使いみち

災害ボランティアの育成と情報発信、除雪ボランティア活動の実施、地域が取り組む福祉のまちづくり事業の推進 等



歳末たすけあい募金（1世帯250円以上）

市内の経済的に困りの家庭や福祉施設に配分され、市民の皆様が明るい新年を迎えられるよう活用されています。

主な使いみち

在宅要介護家庭・在宅要介護家庭の支援、市内福祉施設への支援 等



令和7年度 上山市社会福祉協議会の主な事業

ささえあう

- ・地区福祉連絡会の活動の推進
- ・福祉協力員体制の強化
- ・地域が取り組む福祉のまちづくり事業の推進
- ・専門職員による地域福祉の推進
- ・ふれあい・いきいきサロンづくりの促進
- ・各種団体等との連携
- ・児童遊園遊具の整備助成
- ・ふれあい相談事業
- ・総合相談支援体制の検討
- ・生活困窮者自立支援事業
- ・生活福祉資金貸付事業
- ・たすけあい資金の貸付
- ・福祉サービス利用援助事業
- ・成年後見センターの設置と事業の推進
- ・法人後見事業
- ・市内社会福祉法人等との連携 他



つながる

- ・温泉デイサービス事業（会場：市内旅館）
- ・お元気温泉デイサービス事業
- ・ふれあい食事サービス事業
- ・福祉バスの運行
- ・老人福祉センター寿荘の運営
- ・在宅福祉サービス等の充実（訪問介護事業、居宅介護支援事業、地域密着型通所介護事業、介護予防・日常生活支援総合事業、地域包括支援センターの運営、介護保険外サービス） 他



社協活動の充実

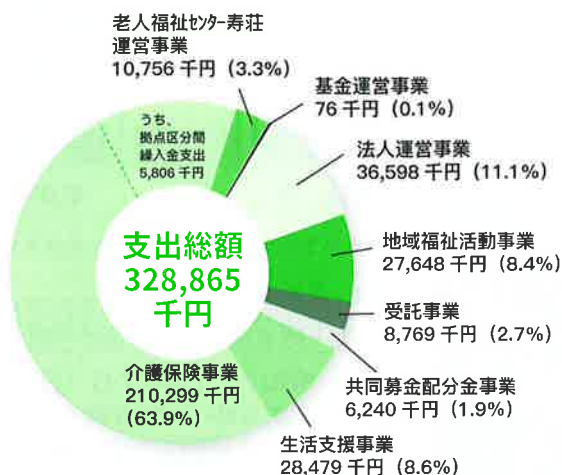
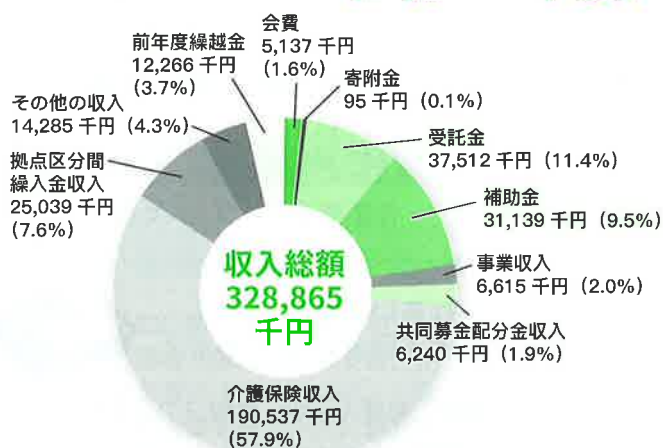
- ・組織体制の整備
- ・財政基盤の強化
- ・共同募金運動の推進
- ・第4次上山市地域福祉活動計画の推進
- ・事業継続計画（BCP）の運用と更新 他

はぐくむ

- ・市民福祉活動支援センター“ふれあい”の活用
- ・ボランティア活動の推進
- ・ふれあい福祉活動応援事業
- ・災害ボランティアの育成と情報発信
- ・除雪ボランティア活動の実施
- ・ボランティア保険加入の促進
- ・福祉学習の推進（学校・公民館等）
- ・広報活動の充実（広報紙・ホームページ・SNS等） 他



令和7年度 収支予算



収支予算額 328,865,000 円（前年比で 4.5%増）※前年度 314,620,000 円

ボランティア情報

ボランティアで
つながろう

ボランティアに関する
問合せ・申込先
上山市社会福祉協議会
☎695-5095

個人・団体ボランティア紹介

Vol.5

社協には、福祉、民族、芸能、環境保全、まちづくり、青少年育成、防災など多岐にわたる分野で活動する個人・団体ボランティアが登録されています。今回は、市内の地区行事やイベント、ふれあい・いきいきサロン等で活躍している個人・団体ボランティアと活動内容を一部で紹介します。

〈敬称略・順不同〉

団体ボランティア

上山昔ばなし切り絵の会

市立図書館などで児童を対象に、地域に伝承する民話をもとに切り絵の作成と上映

秋葉山のひめさゆりをふやそう会

秋葉山とその周辺のヒメサユリ育成と増殖、保護と自然環境等の整備

童謡愛好会 野の花

童謡唱歌等で慰問

上山市高校生ボランティアサークル ジュニアリーダーあすなろ

市主催事業の企画・運営に関わり、話し合いや子ども向けのゲームなどの練習、地域のボランティア活動などへの参加

公益社団法人上山青年会議所

主催事業を通しての社会貢献活動

蔵王緑の騎士団

蔵王山周辺の森林整備活動

上山市声の広報グループ

視覚障がい者に市報(月2回)や議会だより、社協広報紙を音訳・編集・発送、視覚障がい者への支援等

ボランティアサークルつくしんぼ

市立図書館で児童を対象とした図書に関連する布絵本の展示、遊具の作成、作品作りの指導

上山市観光ボランティアガイド協会

上山城を中心とした観光地(名所旧跡)の紹介と案内、各種まつりへの参加協力

とんと昔上山会

温泉デイサービスや市立図書館、小学校、市内の福祉施設などで、方言での昔語り

山形県立上山明新館高等学校 JRC部

街頭や校内での募金活動、社協から依頼のあった事業への協力等

図書ボランティアスプーンの会

市立図書館での絵本等の読み聞かせとエプロンシアターや上山に伝わる紙芝居の上演

ふれあい食事サービス 調理・配食ボランティア

市内の65歳以上の一人暮らしの高齢者のみの世帯、日中一人暮らしの方を対象に、昼食の弁当を届ける事業

- ・調理ボランティア:お弁当の調理と盛り付け
- ・配食ボランティア:お弁当の配達と安否確認

個人ボランティア

石塚賢二

歌の披露

小関文助

健康、福祉講話や演芸(腹話術、落語、講談、演奏)の披露

魚々亭麦酒

落語、マジック

鏡 好男

ギターの弾き語りや演奏

富樫さち子

音楽療法

ハッピーたけ

マジック

ボランティアを
募集します!

上山青年会議所 スマイルプロジェクト☆かみのやま

日時 令和7年7月27日(日)
午前6時~午前9時
内容 イベント翌日の清掃活動
対象 中学生・高校生・一般
場所 三友エンジニア体育文化センター

ふれあい食事サービス 調理・配食ボランティア



日時 毎週火・水・木曜日のいずれか
・調理 午前8時45分~正午頃
・配食 午前10時30分~正午頃

福祉学習のご紹介



社協では、思いやりの気持ちを育み、他者への理解を深めることを目的として、福祉学習を行っています。今回は、その内容の一部をご紹介します。地区の集まりや各種研修会、ふれあい・いきいきサロン等、ご要望に合わせた内容を提案させていただきますので、いつでもご相談ください！

車いす体験



車いすの操作方法や介助方法、声のかけ方を学びます



高齢者疑似体験

高齢者疑似体験（シニアポーズ）セットを使用し、高齢者への声のかけ方や関わり方を学びます

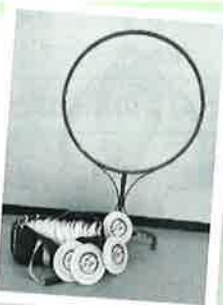
ユニバーサルスポーツの体験

年齢、障がいの有無に関わらず、みんなが一緒に楽しめるユニバーサルスポーツを行います



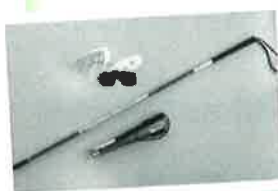
▲ポッチャ

▼モルック



▲フライングディスク

アイマスク・白杖体験



視覚障がいに関する理解を深め、声のかけ方や補助の方法などを学びます

福祉についての講話



福祉の仕事、認知症・高齢者、障がい者等に関する講話を聴き、理解を深めます

上記で使用する物品は、無料で貸出も行っておりますので、お気軽にご連絡ください！

ふれあい福祉活動応援事業

福祉団体等が行う社会福祉活動や先導的な社会福祉事業に対し、助成を行います！

- 対象団体** 活動の拠点が上山市にあり、上山市民を対象として継続的に事業を行う団体
- 対象事業** 高齢者や障がい者の支援、ボランティア活動等、地域福祉や在宅福祉の普及向上を資する事業
- 助成金額** 事業費の3分の2以内（上限10万円）
- 対象経費** 活動事業を行うために直接要する費用
- 使用例** 活動用資機材・備品の購入、事業立ち上げや新規事業実施に係る広報費等
- 申込期限** 令和7年8月末

詳細につきましては
社協ホームページを
ご確認ください。

※申請希望のある団体については、申請前に社協へお問合せくださいますようお願いいたします。

広がっています！

ふれあい・いきいきサロン

社協では、平成19年よりふれあい・いきいきサロン（以下、サロン）活動を推進しています。地域の居場所やいきがづくりの場として広がっているサロンについて詳しくご紹介します。



もっと知りたい！ Q&A サロン活動のあれこれ

Q サロン活動ってどのようなことをしているの？

A. 市内では、地域の方が気軽に楽しく集える居場所として、80カ所（令和6年度時点）で実施されています。活動内容としては、お茶のみや軽体操、レクリエーション、季節に合わせたイベント（花見や芋煮会、クリスマス会等）を実施し、住民同士の交流が図られています。



Q 活動内容はどのように決定しているの？

A. サロン参加者の声を取り入れたり、代表者を中心とした運営協力者同士で話し合いながら内容を決めているサロンが多いようです。

Q サロンの周知はどのように行っているの？

A. 回覧板（チラシ）を活用する他、地区の方に直接声をかけるなどして、周知を行っているサロンが多いようです。また実施後に、活動報告として写真付きのお便りを配っているサロンもあり、地区の方の活動に対する理解や関心を深めるために、とても効果的です。



サロン代表者等に聞きました！

現在活動で工夫していること、活動のアイディア

- ・活動内容のマンネリ化を防ぐため、福祉バスを利用した研修も取り入れています。
- ・普段は高齢者の方が多く集まるサロンですが、地区の子どもも誘って、世代を超えた交流を行っています。
- ・準備から片づけまで参加者全員が協力し合いながら、楽しくサロンを続けています。
- ・出前講座（市役所、警察、消費生活センター、社協等）を定期的に取り入れることで、専門機関や関係各所と顔の見える関係をつくっています。

社協では、市内のサロン活動を応援しています！

団体への 支援

- ◎立ち上げ、運営に関する相談と支援
- ◎研修会や活動についての情報提供

◎福祉関係機関や団体、ボランティア等の社会資源の活用、広報活動の充実

◎サロン活動時の保険等の紹介と加入手続きや活動費の助成

活動費助成について

開催回数	概ね年6回以上
参加人数	1回あたりの参加人数が5人以上
活動例	お茶のみ おしゃべり 講座 レクリエーション など
助成額	年15,000円以内

※要綱に基づいて決定しますので、詳しくはお問合せください。

地域包括支援センター

上山市地域包括支援センターは高齢者が住み慣れた自宅や地域で継続して生活できるように、必要な介護サービスや医療・保健・福祉サービス、行政サービス、地域資源、その他、必要な日常生活支援などを生かしながら相談や提案、他機関との連携を専門職（保健師・看護師・社会福祉士・主任介護支援専門員）が互いに協同しながら対応しております。

※一例としては高齢者の日常生活に関する相談を受けて介護に係わる手続きの代行、医療機関・介護事業所・行政や地域で提供しているサービスなど関係機関に繋げて、高齢者が自宅で継続的に生活ができるように支援しています。

様々な相談に対応します

高齢者に関する介護・福祉・健康や医療・認知症などに関する総合的な相談に対応します。



自立した生活を支援します

高齢者の心身の状態を確認して、適切な介護予防に関するサービスが利用できるように支援します。



暮らしやすい地域を目指します

高齢者が暮らしやすい地域にするために介護事業所や医療機関、行政等の関係機関と連携します。



権利を守ります

成年後見制度や消費者被害に関する相談に対応します。また高齢者虐待の早期発見・防止等に取り組んでいます。

認知症地域支援推進員や生活支援コーディネーターも配置されています。認知症に関する相談や、新たな支援を活かした地域づくりの相談等も対応しています。



上山市地域包括支援センターは市役所1階、正面入口を入って左奥にあります。

☎673-6055（直通兼FAX） ☎672-1111（内線144、148）

※来所、電話、自宅等へ訪問しての相談も応じます。秘密厳守、無料で対応します。

困りごと、心配ごと、ご相談ください

～上山市ふれあい相談所～

◎どんなことでも親身になって相談に応じます。

◎相談は無料です。

◎来所、電話にて対応します。（無料法律相談は来所のみ）

◎個人の秘密は固く守ります。

開設時間：毎週木曜日午前9時～午後3時まで

※無料法律相談は午後1時～午後4時まで

開設場所：市役所1階市民相談室にて

※相談日のみ ☎672-1111（内線129）

	第1週	第2週	第3週	第4週	第5週
6月	5日	12日	19日	26日	—
7月	3日	10日	17日	24日	31日
8月	7日	—	21日	28日	—
9月	4日	11日	18日	25日	—
10月	2日	9日	16日	23日	30日

※ は弁護士無料法律相談になります。

無料法律相談は予約制です。
事前に下記へご連絡ください。

☎673-2750
（午前9時～午後5時）

あったかい心

福祉のまちづくりのために
ご寄附をいただきました。

(令和7年1月24日・令和7年5月20日現在)
※順不同

【寄附金】

・本庄地区民友会 様
・小関昭一 様・匿名希望 様

【募援金】

大船渡市赤崎町林野火災による災害義援金

・高橋正之 様・高橋和子 様

【使用済み切手、プルタン】

・弁護士法人武田法律事務所 様・(株)三共造園 様

・タマパック(株)山形工場 様

・山形市更生保護女性会 様

・国際ソロプチミストかみのやま 様

・山形市立中川小学校 様・(有)佐藤豊店 様

・山形市役所 様・山形市立図書館 様

・(株)山形銀行 山形支店 様

・三友エンジニア体育文化センター 様

・中部地区公民館 様・南部地区公民館 様

・北部地区公民館 様・西郷地区公民館 様

・本庄地区公民館 様・東地区公民館 様

・宮生地区公民館 様・中山地区公民館 様

・中山地区公民館 様・山元地区公民館 様

・浦山秀子 様・城戸口郁子 様

・栗野幸子 様・梅津百合子 様

・武田匡人 様・阿部友宏 様

・匿名希望 様・山川悠紀 様

・匿名希望 様

上山市と 災害に関する協定を締結

令和7年5月1日、上山市と「上山市災害ボランティアセンターの設置・運営等に関する協定」を締結しました。

この協定は、上山市で災害が発生し「災害ボランティアセンター」を設置することになった場合に備え、上山市と本協議会それぞれの役割や協力事項、費用負担等を明確に定めたものです。

平時から連携・協力関係を築き、万が一の発災時においては被災された方々の生活支援を効果的に進めていきます。

地域での孤立に気づき、つながり、つなげ、見守るために

～福祉協力員活動をご存じですか？～

近年、地域のつながりの希薄化・家族単位の縮小などの暮らしの変化に伴い、地域の中で助け合うことが難しい状況が増えています。その声や状況に気づくためには、地域での支え合いや日頃からの顔が見える関係づくりが必要不可欠となっています。福祉協力員は、見守り活動を通じて、地区内や隣近所での福祉課題や困っていることを抱えている方を早期発見する担い手です。各地区の中から選任いただき（主に地区役員や隣組長等）、地区会長や民生委員・児童委員と連携を図りながら、安心した地域づくりを推進していただいています。

社協では、平成11年度より「福祉協力員」制度による福祉ネットワークづくりの活動に取り組んでいます。

福祉協力員の主な活動内容

無理なく、出来る範囲での 見守り・奉仕活動

- ★声がけ
- ★安否確認
- ★話し相手
- ★除雪
- ★ゴミだし 等



散歩中の挨拶、地域の集まり、市報配布時など、つながり、気にかけるきっかけは様々！

困りごとを抱えている方への 気づき



- 【気になる方のサインの例】
- ★いつもと様子が違う、季節とは違った服装を着ている
 - ★郵便物や新聞がたまっている
 - ★普段見かけないような人が出入りしている
 - ★いつもの集まりに来なくなった
 - ★日中でも雨戸やカーテンがしまったまま 等

関係者・関係機関への つなぎ

地区会長、民生委員・児童委員、市役所、社協、地域包括支援センター、警察、消防等へつなぐ。

地域のつながりは、閉じこもり予防や災害時の助け合いにもつながります！

つながりの大切さや、これからの地域づくりについて一緒に考えませんか？

～令和7年度 地域福祉推進セミナー～

ご近所での見守りや支え合い等の必要性について学び、現在の活動を振り返りながらこれからの地域づくりを考えるセミナーを開催します。

日 時：令和7年6月29日（日）午前10時～正午

会 場：三友エンジニア体育文化センター 軽スポーツルーム

内 容：講話・グループワーク

講師：特定非営利活動法人 全国コミュニティライフサポートセンター 理事長 池田 昌弘 氏

定 員：60名

対 象：地区会長、地区役員、隣組長、福祉協力員、民生委員・児童委員、各地区で地域の活動に携わっている方、地域での見守り・支え合い活動に興味・関心のある方 等

申 込：令和7年6月20日（金）まで、電話（695-5095）等にてお申込みください。

